

平成 30 年 2 月 14 日
地 震 火 山 部**草津白根山（本白根山）の噴火を踏まえた火山噴火対策の検討
～火山噴火予知連絡会の部会等において検討～**

気象庁では、草津白根山（本白根山）の噴火を踏まえ、同火山の観測体制及び活動評価並びに全国の活火山の噴火履歴の精査と観測のあり方の検討を行うため、以下の火山噴火予知連絡会の部会及び検討会において、火山噴火対策の検討を進めます。

1. 草津白根山の観測体制及び活動評価の検討

平成 30 年 1 月 23 日に噴火が発生した草津白根山について、火山噴火予知連絡会「草津白根山部会」において、今後の火山活動をより詳細に把握するための観測体制の検討及びきめ細かな火山活動の評価を行います。

（1）検討内容

- ・本白根山を中心とする観測体制
- ・草津白根山の火山活動評価

（2）構成メンバー

- ・別添 1 のとおり

（3）その他

- ・噴火警戒レベルに関する技術的検討を行う草津白根山防災会議協議会専門部会と連携しながら対応

2. 全国の活火山の噴火履歴の精査と観測のあり方の検討

今回の草津白根山は、最も噴火の可能性が高いとされてきた湯釜火口周辺ではなく、有史以来噴火のなかった本白根山付近で発生し、また、特段の火山活動の変化がないまま噴火が発生しました。このようなことを踏まえ、火山噴火予知連絡会「火山活動評価検討会」において、常時観測火山を対象に過去の噴火履歴の精査や今後の観測のあり方の検討を始めます。

（1）検討内容

- ・過去の噴火地点の精査
- ・現在の観測体制（特に監視カメラ）の点検
- ・今後の観測のあり方の検討

（2）構成メンバー

- ・別添 2 のとおり

(別添1)

草津白根山部会 構成メンバー

部会長	野上 健治	東京工業大学	火山流体研究センター	教授
委員	石崎 泰男	富山大学	大学院理工学研究部	准教授
〃	石原 和弘	京都大学	名誉教授	
〃	伊藤 順一	国立研究開発法人産業技術総合研究所		
			活断層・火山研究部門	副研究部門長
〃	大倉 敬宏	京都大学	大学院理学研究科	教授
〃	小川 康雄	東京工業大学	火山流体研究センター	教授
〃	木川田喜一	上智大学	理工学部	教授
〃	北川 貞之	気象庁	地磁気観測所	所長
〃	齋藤 誠	気象庁	地震火山部	火山課長
〃	棚田 俊收	国立研究開発法人防災科学技術研究所	火山防災研究部門	部門長
〃	藤原 智	国土地理院	地理地殻活動研究センター	地理地殻活動総括研究官
〃	山里 平	気象庁	気象研究所	火山研究部長

(五十音順)

火山活動評価検討会 構成メンバー

座 長	中田 節也	東京大学	地震研究所	教授
委 員	井口 正人	京都大学	防災研究所	教授
〃	石原 和弘	京都大学	名誉教授	
〃	伊藤 順一	国立研究開発法人産業技術総合研究所		
			活断層・火山研究部門	副研究部門長
〃	植木 真人	東北大学	大学院理学研究科	客員研究者
〃	大倉 敬宏	京都大学	大学院理学研究科	教授
〃	大島 弘光	北海道大学	大学院理学研究院	特任准教授
〃	鍵山 恒臣	京都大学	大学院理学研究科	教授
〃	川邊 禎久	国立研究開発法人産業技術総合研究所	地質調査総合センター	
			活断層・火山研究部門	火山活動研究グループ 主任研究員
〃	小林 哲夫	鹿児島大学	名誉教授	
〃	齋藤 誠	気象庁	地震火山部	火山課長
〃	清水 洋	九州大学	大学院理学研究院	教授
〃	城ヶ崎正人	国土交通省	水管理・国土保全局	砂防部 砂防計画課
				地震・火山砂防室長
〃	棚田 俊收	国立研究開発法人防災科学技術研究所	火山防災研究部門	部門長
〃	中川 光弘	北海道大学	大学院理学研究院	教授
〃	長屋 好治	海上保安庁	海洋情報部	海洋調査課長
〃	野上 健治	東京工業大学	火山流体研究センター	教授
〃	廣瀬 昌由	内閣府政策統括官(防災担当)	付参事官(調査・企画担当)	
〃	藤原 智	国土地理院	地理地殻活動研究センター	地理地殻活動総括研究官
〃	三浦 哲	東北大学	大学院理学研究科	教授
〃	山里 平	気象庁	気象研究所	火山研究部長

(五十音順)